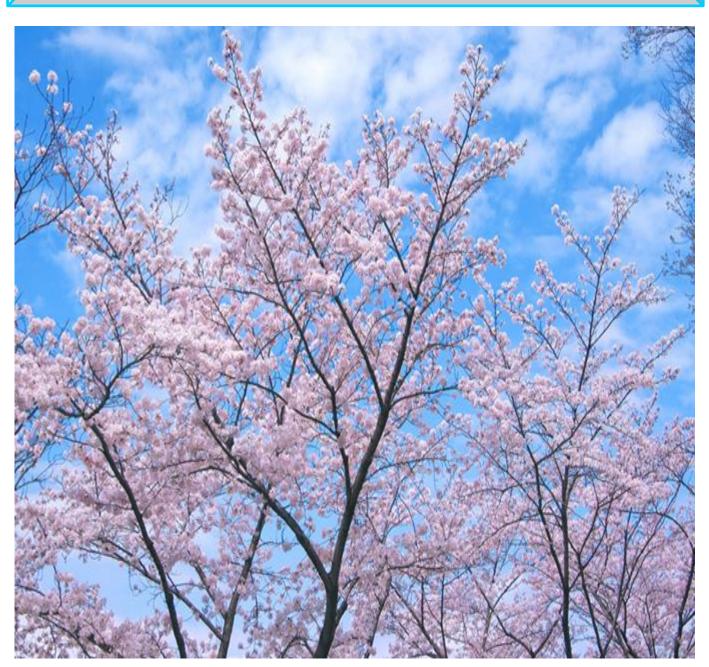


アストモスガス かわら版



2022年 4月号

・編集:アストモスリテイリング株式会社 東北カンパニー / 宮城支店

カーボンニュートラルへ <u>プロパンガス事業者として</u>出来る事

先月号でアストモスエネルギーの「2050 年カーボンニュートラル」の実現に向けての取組をご紹介いたしました。

今月はロードマップの2030年目標の実現に向けた省エネ・新工 ネ政策に則るLPガス業界の対応についてご紹介いたします。

【2030年目標】

2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指します。さらに、50%の高みを目指す新たな削減目標の実現。

【LPガス業界の取組事項】

- ①電力構成が2030年度に至っても約40%が火力発電による ものであり、現在脱炭素化されていない事からLPガスがCO2削 減には有効であることを関係団体と協調し広報活動により消費 者及び社会等へアピールする。
- ②国の補助金等活用し、石油からの燃転により低炭素化並びにL Pガスの普及を進める。
- ③省エネ機器の普及に向け関係団体及びガス機器メーカー等と 連携して、高効率給湯器構成比向上に向けた情報提供、定量・定 性目標設定とロードマップ策定、国からの補助金等助成策の獲得 などを例示し需要拡大を目指す。等
- ※JISA全国LPガス協会 LPガス業界のカーボンニュートラル対応より抜粋



LPガス業界のカーボンニュートラル対応

LPガスカーボンニュートラル (CN) 対応検討会のとりまとめ

- ①LPガス販売事業者が出来得るCNの取り組みや、既に取り組まれている事例等の情報発信を積極的に行うとともに、課題の抽出、解決策の検討、更には必要に応じて自らプロジェクトを立ち上げ、関係業界との連携などを通じて、LPガス業界全体のCNの取り組み促進に貢献すること。
- ②LPガス業界の取り組みによるCO2排出量の削減量を定量的に示すための活動を関係団体と連携して行くこと。
- ③CNに関する国、エネルギー業界の取り組みの状況は急激な変化も予想され、LPガス業界にとって極めて厳しい状況となる可能性もありうるため、CN対応に関する検討は継続的に見直しつつ行い、機動的に迅速な対応を行っていく必要があること。
- ※JISA全国LPガス協会 LPガス業界のカーボンニュートラル対応より抜粋

<まずは出来ることから取り組んではいかがでしょうか。>

現状:機器メーカーの部品調達・新型コロナ影響による納期遅延で困っている。捉え方を変えてみると一般的にガス機器の交換時期は約10年。これは前記の2030年度に現役で稼働している機械になります。そこで壊れる前の高効率ガス機器への買替とLPガスをご提案。お客様へ早めの買替提案を行う絶好の時期と捉え、CN=LPガス使用量の節約を提案することが始めの一歩ではないでしょうか。

高効率ガス機器の普及・促進 (省エネルギー・低炭素化に貢献)



【ハイブリッド給湯器】

ヒートポンプで空気熱を活用する事で 従来型ガス給湯器に比べCO2排出量が 50%以下を達成。

カーボンニュートラルの環境活動に寄与。



【エコジョーズ】

従来型ガス給湯器で使われずに捨てられていた排気熱を有効に利用して、従来よりも少ないガス消費量で効率よくお湯が沸かせる高効率給湯器。





【SIセンサーコンロ】

全てのバーナーに『天ぷら油過熱防止 装置』等の安全機能がついており、火災 リスクを軽減し、安心安全にガスを使え る優れたコンロ。

【エネファーム】

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム

ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と反応させて発電するシステム。発電時の熱を利用して給湯。





2022年4月から変わる事



【成年年齢引き下げ】

140年ぶりに成年年齢が20歳から18歳 へと引き下げられます。

成年年齢とは

「一人で契約をする事が出来る年齢」と 「父母の親権に服さなくなる年齢」という 意味があり、親の同意を得なくとも自分の 意思でさまざまな契約が出来ます。

一方、飲酒や喫煙・競馬など公営競技はこれまでと変わらず20歳です。

【4月からアルコールチェックが義務化】 2021年6月に千葉県で発生した白ナンバートラックによる飲酒運転事故を受け、 検察庁は社有車を5台以上使用する等 の事業所で選任が義務付けられている 安全運転管理者の業務を見直し、出発 時と帰社時にアルコールチェックの義務 化を決定。





アストモス公式アプリ! お得情報を発信中!







